

表

青少年に関する相談連絡機関「ユースプラザ」				
内 容	相談機関	住 所	時 間	電話番号
お悩みを 身近な場所 で 気軽に相談 （子ども・若者・保護者） ※ 予約制 （予約受付 10時～20時）	ユースプラザEAST 「ちゅんね」	新幹線西のちゅんね センター8階 （新幹線西のちゅんね）	月～金 13時～21時	072-628-6993
	ユースプラザWEST 「ちゅんね」	新幹線西のちゅんね センター8階 （新幹線西のちゅんね）	月～金 13時～20時	080-9607-5051 080-4973-3981
	ユースプラザSOUTH 「ちゅんね」	新幹線西のちゅんね センター8階 （新幹線西のちゅんね）	月～金 13時～20時	072-655-3761
	ユースプラザNORTH 「プラザあい」	新幹線西のちゅんね センター8階 （新幹線西のちゅんね）	月～金 13時～20時	072-655-1821
ユースプラザCENTER 「エント」	新幹線西のちゅんね センター8階 （新幹線西のちゅんね）	新幹線西のちゅんね センター8階 （新幹線西のちゅんね）	月～金 13時～21時	080-1521-4824
	新幹線西のちゅんね センター8階 （新幹線西のちゅんね）	新幹線西のちゅんね センター8階 （新幹線西のちゅんね）	月～金 13時～21時	080-1521-4824

身近な相談員

SC・SSW

主任児童委員

CSW

（ご不明の場合）
問い合わせ先：茨木市教育委員会 教育総務部 社会教育振興課
TEL：072-622-6180 FAX：072-622-9858
Eメール：seisyonen@city.ibaraki.lg.jp

青少年に関する相談連絡機関 「まずは電話で相談できます！」

内 容	相談機関	時 間	電話番号
教育に関する悩み相談 「いじめ」に対する相談 フリーダイヤル すこやかホットライン	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
	茨木市教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
24時間子ども SOSダイヤル 「子ども専用」子どもの悩み 相談フリーダイヤル	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
少年非行防止活動 少年の立ち寄り支援 （青少年相談）	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
少年の悩み相談 少年の悩み相談 （青少年相談）	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
少年の悩み相談 少年の悩み相談 （青少年相談）	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830
	茨木市教育センター 電話教育センター 「いじめ」ホットライン	月～金 9時～17時	072-625-7830

**いばらきの青少年
ほっとけん!**

茨木市青少年健全育成
キャラクター
「ほっとけん」

次小市青少年健全育成運動重点目標
子どものSOS ほっとくん!?
大人が気づいて声をかけあう 関係づくり

茨木市・茨木市教育委員会・茨木市青少年問題協議会

両面について、背景、タイトル等の色合を変更します。

相談機関について、内容を確認、更新します。

令和7年度（2025年度）版
令和7年（2025年）3月現在
という文言に更新します。

裏

青少年健全育成のための行事

市内各地において、青少年健全育成に関する行事や
施設などが実施されています。
子どもを守るネットワークを広げるためにも、ぜひ参
加ください。

**いま伸びよう 茨木の未来をひろく青少年
見守ろう わが子 ひとの子 みんなの子**

子どもの発するSOSのサイン

こんなサインがあります

- 悩みやストレスが大きくなってくると、子どもたちの生活や行動に様々なサインが現れます。
- 何気ない、日常の生活や体調・行動が変わったな、と感じたら、それは子どものSOSのサインかも知れません。

家庭で

- 夜更かしが多い、朝なかなか起きられない
- 食欲がない、または食べ過ぎる
- 顔色が悪い、よく体調不良を訴える
- 外出をしたがらない、独り言がふえた

学校や地域で

- ひどく行動していることが多い
- 行事や活動に参加しなくなった
- 夜遅くに外出している

ネット世界で

- 夜遅くまでケータイ・スマホ等をさわっている
- ケータイ・スマホ等が手元にないと、落ち着きなくなる
- ネットで何をしているかを隠そうとする
- SNSに過剰に反応する

SOSをキャッチしたら

まずは身近な大人の声かけから

子どものSOSのサインをキャッチしたら、まずは子どもへの「声かけ」や「言葉かけ」から始めましょう。

一人だけで考えず、家族や地域の大人で話してあげることも子どもを変える力になります。

家ででは

「おはよう・おやすみ」「いってらっしゃい・お帰りなさい」などの毎日の言葉かけが大切です。また、家族そろって食事をとることや規則正しい生活をする中で、子どものSOSに気づきやすくなります。

学校や地域では

出かけたときのあいさつや声かけで、ふだんの関係づくりを心がけましょう。

気になる発言や行動があれば、保護者や周りの友達、活動に関わる指導者・先生などに聞いてみることも大切です。

インターネット内では

表からは見えにくい部分ですが、動画配信や、安易な気持ちで送った悪ふざけ画像の流出、また、ネットで知り合った人を簡単に信用し、取り返しのつかないトラブルにあったことなどがどうすれば良いかわからず困っている場合があります。日ごろからインターネットに関する話題などを話しておくことも大切です。

子どものSOSに気づいたら、子どもの相談連絡機関があります（裏面）

いくつかの写真を更新します。